

2016.11.20 昆布岳（1044.9m） 冬をお出迎えした山旅

CL長沼、近藤、佐藤、伊藤、笹山、山下、太田 天候：くもり 弱風、気温：-1~+7℃

タイム：伊達道の駅 7：00 発→登山口 8：03 出発→メガネ岩（5.5 合目）9：38 小休止 8 合目（標高 800m 付近）10：50→山頂 11：45→下山開始 11：50→8 合目付近食休憩 25 分→登山口着 14：35

街はまだ秋の気配残る 11 月下旬、昆布岳に冬を迎えに行った。6：34 日の出、東の空は明るいが西は黒い雲が低い。7 時冷たい雨の降る伊達道の駅を出発。昭和神山は見えるが有珠山はガスの中。昆布岳山頂はもちろん見えない。

登山口は小雨、気温+7℃、月初めの冷え込みに比べたら今日は暖かい。装備を確認、アイゼンよし、防寒衣よし、スノーシューは要らないとのリーダーの一声。身軽に出発。



登山道は見事に刈り分けされていて 3 人並んで歩ける。お手入れありがとうございます。早速 1 合目の看板、あと 5.2Km とある。むむっ、今日は往復 10 キロ超え、歩き応えあるねえ。送電線をくぐって見通しの良い林を進む。葉が落ちて明るい。雪なし急登なし。標高 550m で林道と交差すると積雪出現。ガスも出てきた。雨は上がっていたが気温が下がってきたのでレインウェアのまま進む。



9：38 標高 597m メガネ岩着。これは一つ目メガネ？それとも窓？岩に大きな穴が開いていて向うが丸見え。この辺り、雪は足首まで、ツボ足で OK。これより上小刻みにアップダウンが続き、だんだん雪は深くなる。とうとう積雪 20cm、すね位の先頭ラッセルを交代しながら進む。べちゃ雪なので苦にならず。7 合目からは男性陣がラッセルしてくれて女性陣はちょっぴりお姫様気分になる。積雪は深いところで 30cm に達した。

S氏力強い先頭ラッセル、ハイペースでどんどん進んでいく。時々姿が見えなくなるのでK氏が気をもむ。Nリーダーは先頭ラッセルと最後尾見守り交互に、心配りを怠らない。足取り軽く話も弾むI&S女史、家庭の出来事から世界情勢まで話題は幅広い。1年ぶり今季初登山でも全くブランクを感じさせないY女傑、100Km歩き通す脚力さすが。最若年ながら後ろで楽をさせてもらったOが続く。

8合目からは岩場の急登。岩の隙間に雪が積もっていて滑りやすい。慎重に確実に。ガスで何も見えない、花も木も眠りに付いている。鳥の声も聞こえず、風の音のみの世界。



山頂が近づくと気温はマイナスになり、ハイマツの葉先に霧氷がついていた。

11:45 昆布の形の標識の立つ山頂着。雪はなく、一等三角点もばっちり。眺望ゼロ。わかっていたが残念至極。風が強いので早々に下山。下りのほうが滑って怖い、要集中。



8合目下で昼食、下山は早い早い。やがて雪が消え、日が差してきて秋に逆戻り。ウインザーホテルや洞爺中島が良く見えた。誰かが滑って転ぶ瞬間を撮ろうとNリーダーがシャッターチャンスを狙う中、誰も隙を見せず転ばず下山。下山後リーダー談「いや〜、ツボ足で登り切っちゃったよ。今日はメガネ岩まで、と思ってたのに誰もやめようって言わないんだも〜ん♡」。なるほど、スノーシューを置いて行ったのはそういうことでしたのね。

「しおさい」で冷えた体を温めて満足のうちに山行終了。街への冬の訪れは足踏み状態だけれども、山には確かに冬が到来していましたよ。

お山とお天気の様、楽しい山行を演出いただいたリーダーとメンバー皆様に感謝。

次はタケノコの時期に登ってみたいですね。

太田記